

海外植林で広がる地域交流の輪

王子製紙(株) 環境経営部
環境経営推進室 渡邊宏美



西オーストラリア州の APFL 社植林地

王子製紙グループは、地球環境と共存しながら紙の需要に応え、文化や教育、産業の発展を支えていくことが最大の使命であると考えている。そのためには、紙の原料である木材資源を有効活用することが不可欠であり、王子製紙グループは海外の6カ国11カ所で植林事業を積極的に進めている。本稿では、植林事業における木材原料の生産といった経済面だけでなく、環境面、社会面でも地元へ貢献している事例を紹介する。(※データはすべて2005年度の実績)

「西豪州土地環境賞」を受賞

王子製紙グループでは、紙の原料を安定的に確保するため、2010年までに海外植林面積を30万haにするという目標を掲げて取り組んでおり、

2005年度末までに15万haの植林を終えている。30万haの植林地がすべて収穫期を迎えると、輸入チップの40%を自給できる。

植林地は、牧場の跡地や焼畑跡の荒廃地を選び、成長した木を伐採した後は、再び植林することを繰り返している。そのため、ユーカリなどの単一種であっても、以前よりは生物多様性を回復させ、新たな生態系をつくり出すことができる。

この植林の取り組みは現地でも高く評価され、例えば、オーストラリアのユーカリ植林地では、地元政府から植林の塩害防止、土壌浸食防止などに対する貢献が評価され、1995年に「西豪州土地環境賞」を受賞した。実際にその地域では、植林により河川の塩害が緩和され水質が改善されている。

また、持続可能な森林経営を推進するため森林



京都議定書にもとづく植林事業の現地調査

認証の100%取得を進めており、2005年度は第三者サプライヤーも含めて輸入チップの33%が森林認証材である。

マダガスカルで CDM 植林

植林した樹木は、太陽エネルギーを用いる光合成で二酸化炭素(CO₂)を吸収する。王子製紙の海外植林によるCO₂固定量は、600万CO₂トン/年と試算される。これに国内の社有林を加えると715万CO₂トン/年となり、これは王子製紙グループの非化石燃料由来のCO₂も含む総排出量の41%に相当する。伐採した後も、再び植林することによって継続的なCO₂固定ができ、地球温暖化対策にも貢献している。

また、王子製紙グループでは、京都議定書で定められたクリーン開発メカニズム(CDM)に基づく植林をマダガスカルとラオスを対象に検討してきた。2006年、マダガスカルにおける吸収源CDM産業植林の『新方法論及びプロジェクト設計書(案)』をCDM理事会に提出した。これは、国内企業が主体的に実施する事業としては初めてのもの。マダガスカルは、過度な薪炭材伐採や焼畑などにより荒廃した草場が拡大しており、将来、王子製紙グループの植林事業が開始された場合、未利用の荒廃地に持続的な森林経営をおこなうことで、製紙原料を造成するとともに、温暖化防止となり、マダガスカルの社会・環境にも大きく貢献できると考えている。

中国で小学生と交流深める

文化も風習も違う地で、植林という結果が出るまでに長期間を要する事業を進めるためには、植林をおこなっている地元との信頼関係なしには成り立たない。当社の植林事業を理解していただくためには、地元との交流が不可欠である。

中国の広西王子豊産林有限公司(CPFL)では、スタッフが周辺の小学校を頻繁に訪問し、無料健康診断の実施、絵画・書道・作文の各コンテストの開催、校門修理の資金および労働力の提供、図



CPFLが絵画コンテストを実施した広西壮族自治区の小学校

書の寄贈などを通じて、交流を深めている。小学校への訪問を繰り返していくうちに子どもたちは大歓迎してくれるようになったという。

担当者は、「植林による土砂崩れ防止や、二酸化炭素の吸収など、植林することのメリットも子どもたちに伝えている。植林の意義を理解してもらえれば、例えば植林地でボヤが発生したときにすぐに知らせてくれたり、違法伐採防止に協力してくれると思う」と話す。

地域も発展できる植林事業

「紙は文化のバロメーター」と言われるように、今後、人口が増加している中国やインドなどを中心に経済発展や教育水準が上昇することにより、紙の需要がますます増大し、木材原料の需要も増加すると予測している。

その需要に応えるためにも、地域の生物多様性に配慮しつつ、森林に依存して生活している人々の社会も維持され、さらに継続的に木材生産と利用をおこなっていけるような植林が必要である。植林木の成長とともに地域も発展できる植林事業をおこなうことが、王子製紙グループの社会的責任である。

◆王子製紙グループ環境への取り組み

<http://www.ojipaper.co.jp/envi/index.html>